

同窓つなぐ高校ノート

書き込み縁 経営危機に活路

有薫酒蔵のノートをきっかけて、経営する会社の危機を乗り切った県人がある。新潟高OBの高橋直也さん(54)＝東京都＝だ。県内の高校第1号のノートをつくった人でもある。「県人が東京で頑張っている様子を知ることができるのがうれしい」と語る。

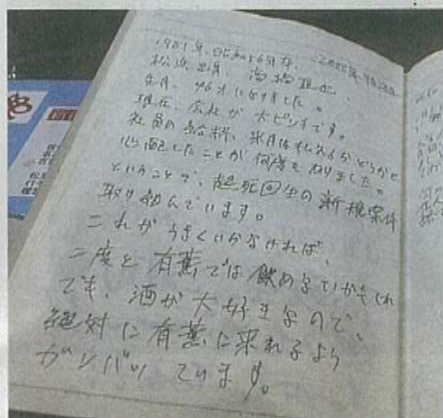
常連客の高橋さんがおかみさんの勧めでノートを作ったのは2006年だった。県内の高校では初めてで、全体でも183校目だった。

当初は高橋さんの書き込みに続く人が現れず、「同窓の方々のコメントが楽しみだが、なかなか増えない

新潟高OB 高橋直也さん(54)



高橋直也さんが書き込んだノート。危機にひんした会社経営の悩みを家族や友人に言えず、独り言のように書き込んだという



のが残念だ」とつぶつた。

08年春になると高橋さんの書き込みが一変した。サブプライムローンの問題の余波で、社長を務める投資顧問会社の業績が悪化。社員の給料の支払いも困難な状況に陥ったとき、

こう書いた。「会社がピンチ。新規案件がうまくいかなければ有薫は飲めなくなる」
書いた主は「一回り上」の先輩、亀井純一さん(故人)。連絡を取ると、亀井さんは親身になり、いくつ

「会社がピンチを考えたときだも会社を紹介してくれた。隣 最後は高橋さんが探した会社から出資を受けることができたが、「決まる直前まで毎日のようにアトバイアスをお願いした」と話す。
こうした様子がテレビ番組で取り上げられ、店のノートの数が一気に増えた。

現在は神奈川県で抗がん剤などの創薬ベンチャー企業を経営する。職場が都心から離れ、店に来る機会は減ったが、立ち寄った際にはページをめくる。

「亀井先輩と出会えたのはノートのおかげ。縁は本当に大事なものだ」

「新橋 有薫酒蔵」の営業時間は平日が午後5時～同11時半で、土曜日は同4時半～同11時。定休日は日曜日。JR新橋駅日比谷口から徒歩2分。住所は港区新橋1の16の4。りそな新橋ビル地下1階。問い合わせ、予約は、03(35508)6266。